

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	オンライン	国語	現代の国語	2
教科書			メディア利用		
新編現代の国語（東京書籍）			あり		
学習目標					
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	こそめスープほか 筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	6-17	1.確認テスト
	第2回	7月30日	未来をつくる想像力ほか 情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。	24-38	2.確認テスト:24-48
	第3回	7月30日	スキマが育む都市の緑と生命のつながりほか 身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。	68-86	4.確認テスト
	第4回	7月30日	鍋洗いの日々ほか 自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	94-115	5.確認テスト
	第5回	7月30日	美しさの発見ほか 「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	142-158	7.確認テスト
	第6回	7月30日	不思議な拍手ほか 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。	166-187	8.確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	国語	文学国語	2
教科書			メディア利用		
文学国語（東京書籍）			あり		
学習目標					
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語や文化に対する理解を深めることを目指す。①深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。②言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	光の窓ほか 筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。	8-55	I部 1 確認テスト
	第2回	7月30日	窓ほか 場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。	34-56	I部 2 確認テスト① I部 2 確認テスト② I部 3 確認テスト
	第3回	7月30日	山椒魚ほか 登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。	58-92	I部 4 確認テスト① I部 4 確認テスト②
	第4回	7月30日	永訣の朝ほか 表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から「わたくし」の妹に対する思いを解釈する。	94-114	I部 5 確認テスト① I部 5 確認テスト②
	第5回	7月30日	こころほか 人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	116-148	I部 6 確認テスト① I部 6 確認テスト②
	第6回	7月30日	文学のふるさとほか 具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。	150-188	I部 7 確認テスト① I部 8 確認テスト① I部 8 確認テスト②
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（7月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、小テスト、添削課題、他の提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価について<知識・技能>試験、添削課題、小テストなど<思考力・判断力・表現力>試験、添削課題にある+α問題など<主体的に学習に取り組む態度>ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	地理歴史	歴史総合	2
教科書			メディア利用		
歴史総合（東京書籍）			あり		
学習目標					
近現代を中心に、史資料を活用し、日本と世界の歴史を相互に関連付け学び、多角的に歴史を考察する。また、課題を追究、解決する活動を通して、現代の問題と歴史との関連を学ぶ。広い視野に立ち、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	8月31日	内容：18世紀の東アジア、イギリスの産業革命、アメリカの独立とフランス革命など 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。	5-47	第1章確認テスト①②
	第2回	8月31日	内容：東アジアの国際秩序の変化と日本の開国、明治維新、日清・日露戦争など 幕末から日露戦争の動乱の中で、日本の国際社会での動向を学ぶことで、現代の政治・経済・文化の基盤を把握する。	48-81	第1章確認テスト③④
	第3回	8月31日	内容：第一次世界大戦、ヴェルサイユ体制とワシントン体制、世界恐慌、ソ連の成立など 大衆化と対外政策、国際政治との関係を考え、第一次世界大戦が従来の戦争と大きく異なる点を学び、平和構築について思索する。	82-107	第2章確認テスト①
	第4回	8月31日	内容：世界恐慌、第二次世界大戦、太平洋戦争、第二次世界大戦後の世界など 戦争の悲惨な実態を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。	108-137	第2章確認テスト②③
	第5回	8月31日	内容：冷戦、地域紛争、冷戦下の世界など 東西冷戦下での対立と地域紛争を学ぶことで、国際関係や平和を維持するための外交の重要性を考察する。	138-165	第3章確認テスト①②
	第6回	8月31日	内容：石油危機、冷戦の終結、グローバル化と地域統合 現代社会が抱える問題を理解し、未来をより良くするための視点を養う。また、多様な価値観を尊重し、国際社会で生きる資質を育む。	166-193	第3章確認テスト③④
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1章 2節 結びつく世界と日本の開国 江戸時代の東アジアにおける交易と世界が近代化へ大きく動く情勢を学び、多角的に歴史を考察する。			別途コース別時間割による
	第2回	第2章 3節 経済危機と第二次世界大戦 国際協調路線から戦争へと向かう歴史を学ぶことで、平和の尊さと戦争を回避するための社会のあり方を考える。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある+α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	公民	公共	2
教科書			メディア利用		
公共（東京書籍）			あり		
学習目標					
<p>社会の諸課題に関心を持ち、主体的に考え行動しようとする態度を育てる。また、情報を正確に読み取り、多面的・多角的に考え、他者と議論・協議しながら問題の解決に向けて思考を深める力を養う。個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回		内容：青年期、宗教、功利主義、生命倫理、環境倫理など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。	10-38	第1部第1章確認テスト 第1部第2章確認テスト
	第2回		内容：民主政治、地方自治、国会、内閣など 国会、内閣、裁判所などや選挙の制度、政党の役割などを学ぶことで、民主政治がどのように成り立ち、運営されているかを理解する。	39 - 85	第1部第3章確認テスト 第2部第1章確認テスト
	第3回		内容：法と社会規範、市民生活と私法、国民の司法参加など 法の必要性や法の社会的意義を理解する。また裁判員制度などを通じ、主権者としての責任意識や法に基づく判断力を育てる。	86 - 115	第2部第2章確認テスト
	第4回		内容：市場経済、資本主義の歴史、金融、財政など 市場経済、金融、財政などのしくみや課題を学ぶことで、よりよい社会のあり方や政策について主体的に考え、意見を持つ力を養う。	116 - 151	第2部第3章確認テスト
	第5回		内容：労働者の権利と労働問題など 働くことの意味を考え、自分らしい働き方の選択や不当な労働から自分や他人を守る力を身につける。	152-163	第2部第4章確認テスト
	第6回		内容：国際社会のルール、平和主義、国際社会経済など 戦争、貧困、環境問題、難民など、地球規模の課題に目を向け、何が問題で、どうすれば解決できるかを主体的に考える力を育てる。	164-205	第2部第5章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第1章 (1) 現代社会に生きる成年 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。			別途コース別時間割による
	第2回	第2章 (1) 法の働きと私たち 法の必要性や法の社会的意義を学ぶことで、個人の自由と社会のルールとの関係を理解し、公共の利益や正義を重視する倫理的態度や規範意識を身につける。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)		試験、添削課題、他提出物の取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある+α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	公民	倫理	2
教科書			メディア利用		
倫理（東京書籍）			あり		
学習目標					
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を学び、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動するまでの多角的な視野の構築を目指す。また、人間尊重の精神とグローバル化する国際社会に主体的に生きる公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	8月31日	内容：青年期の課題、ギリシア思想など 青年期の特徴を理解させ、青年期における自己形成の課題を考えさせる。古代ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。	8-42	確認テスト ①②③
	第2回	8月31日	内容：宗教、中国思想など 宗教に対する考えた方や思想を知ること、人間・社会と宗教との関わりを考えさせる。また、諸子百家の思想家たちが、人生哲学として人間のあり方についてどのように考えたか、理解する。	43-81	確認テスト ④⑤⑥⑦
	第3回	8月31日	内容：ベーコン、デカルト、カント、ヘーゲル、ニーチェなど 幸福、真理、存在などを、近代哲学者の思想から多面的に考察する。カントの説いた道徳法則、理性の命令、自律などの概念について理解し、人間としてのあり方生き方について思索を深める。ヘーゲルの弁証法や歴史観について理解させ、世界のあり方について考える。実存主義者の思想を学び、主体的な生き方について学びを深める。	82-120	確認テスト ⑨⑩⑪⑫⑬
	第4回	8月31日	内容：ソシュール、日本人の精神風土（自然観） 現代思想を学び、主体的に生きることへの懐疑的な思考を養う。また、日本人の根本的なものの見方・考え方を理解する。	121-156	確認テスト ⑭⑮
	第5回	8月31日	内容：日本人の精神風土（宗教観・倫理観） 日本人の根本的な宗教観・倫理観を理解し、国際社会の中で生きる日本の思想的課題をとらえる。	157-198	確認テスト ⑯⑰⑱⑲⑳㉑
	第6回	8月31日	内容：戦後思想、現代の諸課題 戦後日本の平和と民主主義の精神を学び理解し、問題点を考えさせる。現代の諸課題について、多角的な視野を持ち他者と共同で解決する能力を育む。	199-235	確認テスト ㉒①②③
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第2章 2節 ギリシャの思想 ギリシア思想を学ぶことで、「哲学すること」とは何か、自分にとってどのような意義があるかを思索する。			別途コース別時間割による
	第2回	第3章 3節 人格の尊厳と人倫の思想 カント、ヘーゲルの思想を学ぶことで、人間や世界のあり方について考察する。			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月）試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)		試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における<思考力・判断力・表現力><主体的に学習に取り組み態度>の各観点の到達度から評価する			

令和8年度 通信教育実施計画						
学年	学期	コース	教科	科目	単位数	
1	前期	オンライン	数学	数学Ⅰ	2	
教科書			メディア利用			
新数学Ⅰ（東京書籍）			あり			
学習目標						
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 数と式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>						
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など		放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	数の計算 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 【知識・技能】		P4～P23	—
	第2回	7月30日	4. 正負の数の計算 1章 数と式 1節 文字と式 1 文字を使った式 2 多項式と単項式 3 多項式の計算(1) 4 多項式の計算(2) 5 乗法公式 8 展開、因数分解のくふうと利用 【知識・技能】		P24～P41・P46	—
	第3回	7月30日	2節 実数 1 平方根 2 根号をふくむ式の計算 3節 方程式と不等式 1 1次方程式 2 不等式 4 不等式の解 5 不等式の解き方 【知識・技能】		P48～P66	—
	第4回	7月30日	数の計算 1. 整数の計算 2. 小数・分数の計算 3. 計算の利用 4. 正負の数の計算 【思考・判断・表現力】		P4～P29	数の計算確認テスト
	第5回	7月30日	1節 文字と式 6 因数分解(1) 7 因数分解(2) 8 展開、因数分解のくふうと利用 2節 実数 2 根号をふくむ式の計算 3 数の分類 4 分数と小数 3節 方程式と不等式 3 不等式の性質 6 2次方程式とその解き方 【思考・判断・表現力】		P42～P71	1章確認テスト
	第6回	7月30日	【主体的に学習に取り組む態度】 添削課題第1回～第5回の学習範囲		P58～P72	—
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程	
	第1回	定期試験の取り組み方			別途コース別 時間割による	
	第2回					
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど				
期末試験（8月） （試験範囲、時間割は2週間前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>調べ学習の内容で評価する。				

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	数学	数学Ⅱ	2
教科書			メディア利用		
新数学Ⅱ（東京書籍）			あり		
学習目標					
<p>数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 指数関数・対数関数の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月17日	1節 指数関数 1. 整数の指数	P86～P87	—
	第2回	7月17日	2. 累乗根	P88～P89	4章 確認 テスト①
	第3回	7月17日	3. 分数の指数 4. 指数関数とそのグラフ 5. 指数関数の利用	P90～P95	4章 確認 テスト②
	第4回	8月21日	2節 対数関数 1. 対数	P96～P97	—
	第5回	8月21日	2. 対数の性質	P98～P99	4章 確認 テスト③
	第6回	8月21日	3. 対数関数とそのグラフ 4. 常用対数	P100～P103	4章 確認 テスト④
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	定期試験の取り組み方			コース別時間割による
	第2回				
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
期末試験（8月） （試験範囲、時間割は2週間 前に発表）		試験、添削課題、他提出物や平素の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。 なお、観点別評価について <知識技能>試験、添削課題 <思考力・判断力・表現力>試験、添削課題 <主体的に学習に取り組む態度>調べ学習の内容 で評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	理科	科学と人間生活	2
教科書			メディア利用		
科学と人間生活 (002:東書 科人/701)			あり		
学習目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 					
添削課題	回数	ㄨ切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回		①身のまわりの微生物に興味・関心を持つ。 ②微生物の種類を理解する。 ③生態系における微生物のはたらきを理解する。 ④微生物の発見の歴史について理解する。 ⑤食品や医薬品と微生物の関わりについて理解する。	14-37	1編1章確認テスト
	第2回		①身のまわりの金属やプラスチックに興味・関心を持つ。 ②リサイクルについて理解する。 ③金属の性質と再利用について理解する。 ④プラスチックの性質と再利用について理解する。	66-93	2編1章確認テスト
	第3回		①可視光線を含む電磁波の性質や利用に興味・関心を持つ。 ②光の性質について理解する。 ③光のスペクトルについて理解する。 ④色の見え方について理解する。 ⑤電磁波の性質と利用について理解する。	116-137	3編1章確認テスト
	第4回		①熱やエネルギーに興味・関心を持ち、②熱運動と温度について理解する。 ③熱量の保存について理解する。 ④熱の伝わり方について理解する。 ⑤エネルギーの変換や、⑥エネルギーの有効利用について理解する。	138-157	3編2章確認テスト
	第5回		①層や潮汐、大気や海洋の循環に興味・関心を持つ。 ②太陽層と太陽層について理解するとともに、③潮位が変動するしくみについて理解する。 ④太陽の活動について理解する。 ⑤大気と海洋の循環について理解する。 ⑥大気の運動と気象災害について理解する。	158-179	4編1章確認テスト
	第6回		①身近な自然景観や、自然災害と防災に興味・関心を持つ。 ②さまざまな自然景観と、それらの成り立ちについて理解する。 ③さまざまな自然災害と防災について理解する。 ④天気予報や緊急地震速報について知り、自然災害との付き合い方について理解する。	180-207	4編2章確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	ガイダンス 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方についてのガイダンスを行う。			※日程はコースのスケジュールによる
	第2回	実験① アルコール発酵 酵母によるアルコール発酵について理解を深める。			※日程はコースのスケジュールによる
	第3回	実験② 簡易分光器の作成 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する態度を身に付ける。			※日程はコースのスケジュールによる
	第4回	実験の振り返り・まとめ 実験を題材に、科学的に探究しようとする態度を身につけ、科学に対する興味・関心を高める。			※日程はコースのスケジュールによる
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験あり （試験範囲は上記の通り、時間割は後日発表）		試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある+α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
無	前期	オンライン	理科	生物基礎	2
教科書			メディア利用		
東京書籍 「新編生物基礎」 (002:東書 生基/902)			あり		
学習目標					
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 					
添削課題	回数	ページ	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回		1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 2章 生物とエネルギー	P.14~P.41	1編 1章、2章テスト
	第2回		2編 遺伝子とのはたらき 1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質	P.46~P.75	2編 1章、2章テスト
	第3回		3編 ヒトの体の調節 1章 ヒトの体を調節するしくみ	P.80~P.105	3編 1章テスト
	第4回		2章 免疫のはたらき	P.106~P.123	3編 2章テスト
	第5回		4編 生物の多様性と生態系 1章 植生と遷移	P.128~P.149	4編 1章テスト
	第6回		2章 生態系と生物の多様性	P.150~P.171	4編 2章テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	ガイダンス 学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方についてのガイダンスを行う。			※日程はコースのスケジュールによる
	第2回	実験① カタラーゼのはたらき 生体内の化学反応が、酵素のはたらきによって進行していることを理解する。			※日程はコースのスケジュールによる
	第3回	実習① DNA模型の作製 DNA模型の作製を通して、DNAの構造の特徴について考察する。			※日程はコースのスケジュールによる
	第4回	実験②-1 DNAの抽出 実験 真核生物では、DNAが染色体の成分として存在することを理解する。			※日程はコースのスケジュールによる
単位認定試験		評価方法			
期末 (8月) 試験あり (試験範囲、時間割は2週間前に発表)		試験、添削課題、他提出物や実験への取り組み、平素の学習態度などを総合的に判断し5段階評価する。 知識技能：試験、添削課題 思考力・判断力・表現力：試験、添削課題にある+α問題など 主体的に学習に取り組む態度：実験への取り組みの様子、ノートや各種成果物を総合的に評価			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）改訂版					
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	スポーツの始まりと変遷	p.136～139	なし
	第2回	7月30日	文化としてのスポーツ	p.140～143	なし
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			報告課題 (確認テスト)
	第1回	1体育の心得 2単位について（シラバス） 3体育時の服装について 4体育授業についてのルール等			別途コース別時間割による
	第2回	1運動の意義 2列の増減 3挨拶の仕方 等			別途コース別時間割による
	第3回	体づくり運動（1大縄跳び 2棒送り 3開志体操）等			別途コース別時間割による
	第4回	体づくり運動（1大縄跳び 2開志体操）等			別途コース別時間割による
	第5回	体づくり運動テスト（開志体操の試技）等			別途コース別時間割による
	第6回	体づくり運動テスト（開志体操の試技、チーム対抗の運動）等			別途コース別時間割による
	第7回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第8回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第9回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
第10回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書			メディア利用		
現代高等保健体育（大修館書店）			なし		
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	スポーツにおける技能と体力	p.158～159	なし
	第2回	7月30日	スポーツにおける技能と戦術	p.160～163	なし
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			報告課題 (確認テスト)
	第1回	1体育の心得 2単位について（シラバス） 3体育時の服装について 4体育授業についてのルール 等			別途コース別時間割による
	第2回	1運動の意義 2列の増減 3挨拶の仕方 等			別途コース別時間割による
	第3回	体づくり運動（1大縄跳び 2棒送り 3開志体操）等			別途コース別時間割による
	第4回	体づくり運動（1大縄跳び 2開志体操）等			別途コース別時間割による
	第5回	体づくり運動テスト（開志体操の試技）等			別途コース別時間割による
	第6回	体づくり運動テスト（開志体操の試技、チーム対抗の運動）等			別途コース別時間割による
	第7回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第8回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
	第9回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による
第10回	球技（ネット型）			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法			
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	保健体育	体育	1
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	

学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	生涯スポーツの見方、考え方	p.182～185	なし

面接指導日	回数	学習のねらい、内容など	日程
	第1回	体育の心得、単位について（シラバス）の説明、体づくり運動 等	別途コース別時間割による
	第2回		
	第3回	開志体操、体づくり運動 等	別途コース別時間割による
	第4回		
第5回	開志体操、体づくり運動 等	別途コース別時間割による	

単位認定試験	評価方法
なし	添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	保健体育	体育	2
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	生涯スポーツの見方、考え方	p.182～185	なし
	第2回	7月30日	ライフスタイルに応じたスポーツ	P186～189	なし
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	体育の心得、単位について（シラバス）の説明、体づくり運動 等			別途コース別時間割による
	第2回				
	第3回	開志体操、体づくり運動、球技 等			
	第4回				
	第5回				
	第6回				
	第7回				
	第8回				
	第9回				
	第10回				
単位認定試験					
なし		添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	保健体育	体育	3
教科書				メディア利用	
現代高等保健体育（大修館書店）				なし	

学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。
 (1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 (2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 (3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	生涯スポーツの見方、考え方	p.182～185	なし
	第2回	7月30日	ライフスタイルに応じたスポーツ	P186～189	なし
	第3回	7月30日	すばーとお推進する取り組み	P190～193	なし

面接指導日	回数	学習のねらい、内容など	日程
	第1回	体育の心得、単位について（シラバス）の説明、体づくり運動 等	別途コース別時間割による
	第2回		
	第3回	開志体操、体づくり運動、球技 等	
	第4回		
	第5回		
	第6回		
	第7回		
	第8回		
	第9回		
	第10回		
	第11回		
	第12回		
	第13回		
	第14回		
第15回			

単位認定試験	評価方法
なし	添削課題や面接指導日の学習態度（意欲、身だしなみなど）、授業内の試技を総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価についても添削課題および平常点における各観点の到達度から評価する。

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	オンライン	保健体育	保健	1
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）改訂版					
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	思春期と健康、性意識と性行動の選択	P76～P79	あり
	第2回	7月30日	妊娠・出産と健康、 避妊本と人工妊娠中絶	P80～P85	あり
	第3回	7月30日	性感染症・エイズとその予防、 結婚生活と健康	P46～P49	あり
面接指導日	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別 時間割による
単位認定試験			評価方法		
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表			試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。		

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2・3	前期	オンライン	保健体育	保健	1
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	思春期と健康、性意識と性行動の選択	P78～P81	あり
	第2回	7月30日	妊娠・出産と健康、 避妊本と人工妊娠中絶	P82～P85	あり
	第3回	7月30日	性感染症・エイズとその予防	P48～P49	あり
面接指導日	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表		試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	保健体育	保健	1
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	喫煙と健康	P28～P29	あり
	第2回	7月30日	飲酒と健康	P30～P31	あり
	第3回	7月30日	薬物乱用と健康	P32～35	あり
面接指導日	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表		試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2・3	前期	オンライン	保健体育	保健	2
教科書					
現代高等保健体育（大修館書店）					
学習目標					
<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>(1)各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>(3)生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	喫煙と健康	P28～P29	あり
	第2回	7月30日	飲酒と健康	P30～P31	あり
	第3回	7月30日	薬物乱用と健康	P32～P35	あり
	第4回	7月30日	精神疾患の特徴	P36～P37	あり
	第5回	7月30日	精神疾患の予防	P38～P39	あり
	第6回	7月30日	精神疾患からの回復	P40～P41	あり
面接指導日	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み、試験の取り組み方について			別途コース別 時間割による
単位認定試験		評価方法			
期末（8月） 試験範囲：別途定める 時間割：2週間前に発表		試験、添削課題、面接時の学習態度など総合的に判断し、観点別および5段階評価する。			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	オンライン	芸術	書道Ⅰ	2
教科書			メディア利用		
書道Ⅰ(東京書籍)			なし		
学習目標					
時代を代表する様々な名筆・古筆の臨書(課題)を通して、書の伝統と文化について考え、書に親しむ心を養い、書の美を味わう感性を豊かにする。					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	書写の確認・文字の仕組み・行書の基本・配列の基本・用具・用材について	P4~10・P42~62	—
	第2回	7月30日	漢字の成立と変遷・古典に基づく学習・楷書について	P14~41	—
	第3回	7月30日	行書の特徴・行書の作品「蘭亭序」「争坐位文稿」について	P42~62	—
	第4回	7月30日	草書の成立・「真草千時文」・隸書について	P63~69	—
	第5回	7月30日	仮名・いろは歌・仮名の作品「蓬莱切」について	P80~91	—
	第6回	7月30日	漢字仮名交じりの書について・用具・用材の表現・生活に広げる書・頭語と結語の結び付けについて	P110~134	—
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度等について面談			7/23~7/30
	第2回	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度等について面談			
	第3回	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度等について面談			
	第4回	学習の進捗状況、提出されたレポート、授業態度等について面談			
単位認定試験		評価方法			
無し		6回の添削課題・葉書一字書作品の提出の有無と出来、授業態度等を勘案して三観点で、五段階評価を行う。			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
1	前期	オンライン	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2
教科書			メディア利用		
All Aboard!! English Communication I Revised (東京書籍)			あり		
学習目標					
<p>日常的・社会的な話題について多くの支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の糸を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して話して伝えることができる。 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理的に注意して文章を書いて伝えることができる。 					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7/30	Warm-up、Lesson 1、2の新出単語、語句を理解する。	8-33	Warm-up、 Pre-Lesson Lesson 1 Lesson 2
	第2回	7/30	世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。動詞の過去形、進行形〈be動詞+動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。Warm-up、Lesson 1～3の表現を理解する。	8-33	Warm-up、 Pre-Lesson Lesson 1 Lesson 2
	第3回	7/30	be動詞や一般動詞、動詞の過去形、〈be動詞+動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	8-33	Warm-up、 Pre-Lesson Lesson 1 Lesson 2
	第4回	7/30	Lesson 3、Lesson 4、Lesson 5の新出単語、語句を理解する。	34-69	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第5回	7/30	布施蒼依さんと愛馬の生活について、助動詞can、willの理解をもとに概要や要点を捉える技能を身につけている。can、willを用いた文の形・意味・用法を理解する。海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。「空気エンジン」を開発する高校生について聞いたり読んだりしたことを活用し、好きなことと将来の夢について考える。動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。	34-69	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
	第6回	7/30	can、willを用いた文、to不定詞〈to+動詞の原形〉を用いた文、動名詞〈動詞の-ing形〉を用いた文の形・意味・用法を理解し、指示された英文を作成する。	34-69	Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み(進捗状況の確認)、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
	第5回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
	第6回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
	第7回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による
第8回	音読指導、単語・熟語確認。本文読解。文法指導等			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		<p>試験範囲 p8～77</p> <p>学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく</p>			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	外国語	論理表現	2
教科書			メディア利用		
NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised (東京書籍)			あり		
学習目標					
多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、					
1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。					
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。					
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7/30	Unit 1 Lesson 1～9の重要単語、語句を理解する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 1- 3 Lesson 4- 6 Lesson 7- 9
	第2回	7/30	Unit 1 Lesson 1～9の表現、内容を理解する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 1- 3 Lesson 4- 6 Lesson 7- 9
	第3回	7/30	誘う、誘いを受ける、誘いを断るときの表現の形・意味・用法を理解し表現する。状況の説明する、手助けを申し出る、助言・提案をする、お礼や感謝を伝えるなどの表現の形・意味・用法を理解し表現する。] 映画や本のあらすじを要約する、登場人物などを紹介する、感想や批評を述べるときの表現の形・意味・用法を理解し表現する。	14-31 32-49 50-67	Unit 1 Lesson 1- 3 Lesson 4- 6 Lesson 7- 9
	第4回	7/30	Unit 1 Lesson 10～12の重要単語、語句を理解する。 Unit 2 Lesson 1～Lesson 8の重要単語、語句を理解する。	68-85 88-111 112-135	Unit 1 Lesson 10- 12 Unit 2 Lesson 1- 4 Lesson 5- 8
	第5回	7/30	Unit 1 Lesson 10～12の表現、内容を理解する。 Unit 2 Lesson 1～Lesson 8の表現、内容を理解する。	68-85 88-111 112-135	Unit 1 Lesson 10- 12 Unit 2 Lesson 1- 4 Lesson 5- 8
	第6回	7/30	事実と意見を区別して述べる、文化や習慣を説明するときの表現の形・意味・用法を理解し、表現する。利点と欠点を述べる、話題を発展させる、話題を変えるとききの表現の形・意味・用法を理解し表現する。自分の主張の理由・根拠を説明する、理由を要約して述べるときの表現の形・意味・用法を理解し表現する。	68-85 88-111 112-135	Unit 1 Lesson 10- 12 Unit 2 Lesson 1- 4 Lesson 5- 8
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	音読指導			別途コース別時間割による
	第3回	音読指導			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導			別途コース別時間割による
	第5回	音読指導			別途コース別時間割による
	第6回	英作文指導			別途コース別時間割による
	第7回	添削課題の取り組み（進捗状況の確認）、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第8回	英作文指導			別途コース別時間割による
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p 14～135 学習のポイント 各レッスンの内容・表現を確認しておく			

令和8年度 通信教育実施計画					
学年	学期	コース	教科	科目	単位数
3	前期	オンライン	外国語	英語コミュニケーションⅡ	2
教科書			メディア利用		
All Aboard!! English Communication Ⅱ (東京書籍)			あり		
学習目標					
<p>日常的・社会的な話題について、一定の支援を活用すれば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。 					
添削課題	回数	締切	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7/30	Pre-Lesson, Lesson 1、Lesson 2、Lesson 3の新出単語や語句を理解する。	8-19 20-29 30-41	Pre-Lesson, Lesson 1
	第2回	7/30	イタリアのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。to不定詞や助動詞willなどを用いられた文の形・意味を理解する。比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文の形・意味を理解している。また、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について調べた事柄を整理する。ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について調べた事柄を整理・理解する。itを用いた文〈It is … (for ~) to ~〉〈It is … that ~〉の形・意味を理解する。	8-19 20-29 30-41	Lesson 2
	第3回	7/30	to不定詞や助動詞willなどを用いられた文、比較表現〈more〉〈the most〉を用いた文、itを用いた文〈It is … (for ~) to ~〉〈It is … that ~〉の形・意味を理解し、指示された英作文を作成する。また、Communication 1の語句を学習する。	8-19 20-29 30-41	Lesson 3
	第4回	7/30	Lesson 4、Lesson 5、Readingの新出単語や語句を理解する。し、自分で調べた事柄を用いて、考えや理由などを話して伝え合う技能を身につける。	42-55 56-69 70-77	Lesson 4
	第5回	7/30	間接疑問文の形・意味を理解している。また、ハチドリやハチドリを主人公にした物語について学んだり、好きな物語について調べた事柄を整理・理解する。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。また、歌舞伎と隈取について学んだり、日本の伝統文化について調べた事柄を整理・理解し、日本の伝統文化について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを話して伝え合う技能を身につける。英語で書かれたMujinaの内容を理解し、読み取る技能を身につけている。	42-55 56-69 70-77	Lesson 5
	第6回	7/30	現在完了進行形などの英作文を作成する。日本の伝統文化について、相手の意見を知り、自分の考えを英語で表現する。	42-55 56-69 70-77	Reading 1
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	学習の進め方、添削課題の取り組み(進捗状況の確認)、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第2回	今年やってみたいことなどを、to不定詞や助動詞willなどを用いて、相手に伝える技能を身につけている。関係代名詞whatの理解をもとに、海外の観光地について学んだり、海外で行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、英語で述べるることができる。			別途コース別時間割による
	第3回	比較表現〈more〉〈the most〉の理解をもとに、世代を超えて人気のある音楽バンドについて学んだり、好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、英語で述べるることができる。itを用いた文〈It is … (for ~) to ~〉〈It is … that ~〉の形・意味を理解する。			別途コース別時間割による
	第4回	音読指導			別途コース別時間割による
	第5回	間接疑問文の形・意味を理解している。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。to不定詞を含む表現を用いた文の形・意味を理解している。			別途コース別時間割による
	第6回	添削課題の取り組み(進捗状況の確認)、試験の取り組み方について			別途コース別時間割による
	第7回	英作文指導(to不定詞、比較など)			別途コース別時間割による
第8回	英作文指導(現在完了進行形など)			別途コース別時間割による	
単位認定試験		評価方法・学習のポイントなど			
あり		試験範囲 p8~77 学習のポイント 各レッスンの内容・新出単語・文法事項を確認しておく			

令和8年度 通信教育実施計画

学年	学期	コース	教科	科目	単位数
2	前期	オンライン	家庭	家庭総合（前半）	2
教科書				メディア利用	
高等学校 家庭総合 自立 共生 創造（東京書籍）				あり	
学習目標					
<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働し、よきよき社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。（1）人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。（2）家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。（3）様々な人々と協働し、よきよき社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>					
添削課題	回数	締め切り	学習のねらい、内容など	放送視聴 対応教科書ページ	報告課題 (確認テスト)
	第1回	7月30日	第1章：生涯を見通す 第2章：人生をつくる 第3章：子どもと共に育つ 【知識・技能】	p.10-17 p.20-41 p.44-73	第1章確認テスト
	第2回	7月30日	第4章：超高齢化社会を共に生きる 第5章：共に生き、共に支える 【知識・技能】	p.76-91 p.94-103	第2章確認テスト
	第3回	7月30日	第1章～第5章の内容についての 知識や技術を活用し問題解決や自己表現をする 【思考力・判断力・表現力】	p.10-17、p.20-41 p.44-73、p.76-91 p.94-103	第3章確認テスト
	第4回	7月30日	第5章の内容について 生活課題を見つけ、それを解決するための実践活動を 計画する 【主体的】	p.94-103	第4章第5章 確認テスト
面接指導日	回数	学習のねらい、内容など			日程
	第1回	第3章 子どもと共に育つ 妊婦体験を通して、妊婦出産や母体の変化・周囲の理解について学習する			7/23～7/30
	第2回	第3章 子どもと共に育つ 赤ちゃんのお世話実習を通して子どもについて学習する			7/23～7/30
単位認定試験			評価方法		
期末（8月）試験あり （試験範囲、時間割は2週間前に発表）			試験、添削課題、他提出物や面接指導日の学習態度などを総合的に判断し、5段階評価する。なお、観点別評価については試験、添削課題における＜思考力・判断力・表現力＞＜主体的に学習に取り組み態度＞の各観点の到達度から評価する		